

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

向日市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

京都府向日市

3 地域再生計画の区域

京都府向日市の全域

4 地域再生計画の目標

昭和 47 年 10 月の市制施行以来、本市の総人口は概ね増加傾向が続き、市制施行の翌年、昭和 48 年には住民基本台帳人口で 40,791 人であったものが、令和元年には住民基本台帳人口で 57,490 人となってピークを迎えたものの、以降は減少傾向が続き、令和 5 年 12 月 1 日現在では、住民基本台帳人口で 56,538 人となっている。

年齢 3 区分別の人口割合については、平成 27 年の国勢調査における割合が、年少人口（0～14 歳）で 14.0%、生産年齢人口（15～64 歳）で 59.1%、老年人口（65 歳以上）で 26.9%であったが、住民基本台帳に基づく令和 5 年 1 月時点での割合は、年少人口（0～14 歳）で 13.5%、生産年齢人口（15～64 歳）で 59.5%、老年人口（65 歳以上）で 26.9%となっており、年少人口の割合が減少しつつある。

転入・転出に伴う社会動態については、平成 18 年から平成 26 年にかけて、転出数が転入数を上回り、概ね、150 人から 350 人程度の社会減が続いていたが、平成 27 年から令和元年にかけては、転入数が転出数を上回るようになり、特に平成 29 年は、転入数 3,236 人に対し、転出数 1,966 人となり、1,270 人の社会増となった。

しかしながら、令和 2 年からは再び転出数が転入数を上回るようになり、令和 4 年は、転入数 2,137 人に対し、転出数 2,181 人となり、44 人の社会減となっている。

出生・死亡に伴う自然動態については、平成 24 年までは出生数が死亡数を上回る自然増が続いていたが、平成 25 年に出生数が 397 人、死亡数が 447 人として、初めて死亡数が出生数を上回り、50 人の自然減に転じた。

以降、自然減・自然増を繰り返しつつも、概ね減少傾向が続いており、令和 4 年は、出生数が 391 人、死亡数が 571 人として、180 人の自然減となっている。

本市における人口動態の近年の動向としては、市北部に位置する桂川・洛西口新市街地整備に伴い、子育て層を中心に平成 27 年頃から転入者が増加し、社会動態は一定の期間、増加に転じ、また、社会動態の増加の影響に付随する形で、自然動態も増加に転じたものの、令和 2 年からは社会動態・自然動態ともに、再び減少に転じ、以降も減少傾向が続いている。

本市が令和 2 年に設定した人口の将来推計においても、先に述べた大規模市街地整備に伴い、一時的に総人口は増加に転じるものの、令和 31 年には総人口が 44,023 人まで減少し、年齢 3 区分別の人口割合において、老年人口の割合は 30% を超え、年少人口の割合は、10% に近づく等、少子高齢化の進行による人口減少が見込まれている。

今後、少子高齢化が進み、人口が減少していくと、まちの賑わいの維持や創出が困難となり、地域活力の低下を招くとともに、活力の低下による地域の魅力の喪失によって、「このまちに住み続けたい」「向日市にずっと住みたい」という定住意欲が削がれてしまい、子育て世代を含む、年少人口・生産年齢人口の流出が一層進んでしまうなどといった課題が生じることが懸念される。

このような状況を踏まえ、社会情勢の変化にしなやかに対応しながら、まちの魅力を広く発信する取組や、貴重な地域資源の活用、誰もが快適に暮らし続けられる地域づくり等を行い、将来にわたって誰もが安心・安全・健康に暮らし続けられる環境づくりに取り組む。

本市をより一層発展させ、市民の誰もが、誇りを持って、本市のことを「ふるさと」だと思っただけできるよう、まちづくりを推進するため、以下の 3 つの施策の柱を基本目標に掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり
- ・基本目標 2 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

- ・基本目標 3 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	朝堂院公園来訪者数	4,560人	10,000人	施策の柱 I
	旧上田家住宅来訪者数	1,570人	6,000人	
	向日市観光交流センター来館者数	17,277人	92,000人	
	向日市観光人材育成プログラム受講者数	43人 (累計)	157人 (R4～R6累計)	
	土産等特産品開発・認定件数	8件 (累計)	22件 (R4～R6累計)	
	観光入込客数	182,250人	765,000人	
	観光消費額	6,066千円	338,000千円	
	LINE@及びFacebookに対する満足度(アンケート結果)	LINE@ : 2.92 Facebook : 2.91	LINE@ : 3.40 Facebook : 3.40	
	「向日市いいところPR隊たけのこりん」のイベント等への登場回数	7回	50回	
	本市に対する市民の定住意向の割合	76.7%	80%以上	
	経営指導数	2,182件	H30実績 (1,400件)比 10%増	

	創業件数	4 件	35件 (R4～R6累計)	
	向日市観光交流センターにおける地元農産物の販売促進	R3売上額 約960万円	R3実績比 10%増	
	市民ボランティアによる竹林保全	2 箇所	2 箇所	
	特産品の開発	0 件	2 件 (R4～R6累計)	
	都市計画道路及び幹線市道の整備（都市計画道路牛ヶ瀬勝竜寺線、第3064号線、寺戸森本幹線2号、寺戸幹線6号、第2013号線）	—	5 路線	
	生活道路・細街路の整備	2 路線	8 路線 (R4～R6累計)	
	通学路の整備	—	10箇所 (R4～R6累計)	
	自転車通行レーンの整備	—	1 路線 (R4～R6累計)	
	ゾーン30区域の拡大	1箇所 22.4ha	2箇所 30ha	
	地籍整備率	6.0%	10%	
イ	待機児童	0人	0人	施策の柱Ⅱ

家庭児童相談室の機能強化（虐待対応専門員配置）	—	1名
放課後児童クラブへの入会要件を充たす全ての児童の受入れ	100%	100%
乳幼児健診未受診者の面接割合	100%	100%
伴走型相談支援の実施（妊娠届出時、妊娠8か月頃（希望者のみ）、出生後の面談実施割合）※	—	100%
特定健診受診率（向日市国民健康保険実施分）	47.9%	55%
特定保健指導実施率（向日市国民健康保険実施分）	71.1%	65%以上
糖尿病の保健指導を実施した割合	68.5%	65%以上
長寿健康診査受診率	50.2%	65%
大腸がん検診受診率	11.1%	14.0%
乳がん検診受診率	9.7%	14.0%
健康ポイント事業達成者数	96人	200人
住民主体で介護予防に資する取組を実施する集いの場の数	10か所	21か所 (R4～R6累計)
認知症サポーター数	9,272人	9,500人

見守りSOSネットワーク協力事業所(登録事業所数)	109	130
認知症初期集中支援チームの周知媒体数	3	5
計画相談支援 作成率	100%	100%
就労移行支援事業の利用者数	18人	15人
手話言語条例の事業所向けの啓発事業	1事業実施	毎年 1事業実施
地域共生社会実現サポート事業実施事業所数	—	6事業所 (R4～R6累計)
地域の見守りネットワーク事業協定事業者数	12事業者	17事業者
戸建住宅の太陽光発電設備設置件数※	—	1,800件
公用車における電気自動車(EV)導入台数※	—	40台
公共施設におけるLED照明導入率※	—	100%
ごみ排出量	521g/日・人	457g/日・人
資源ごみの再生利用率※	—	8.7%
防災出前講座・出前授業の実施回数・参加人数	5回・363人	20回・700人
地域における避難所運営訓練回数	1回実施	毎年 1回実施
災害備蓄物資の分散配備箇所数	28か所	27か所

浸水対策下水道雨水排水路等の整備の促進（東野辺地区雨水バイパス整備、前小川整備）	—	2箇所 (R4～R6累計)
雨水タンク助成制度による雨水タンク設置数	16基	34基 (R4～R6累計)
重要な水道管路（基幹道路）の耐震適合率	28.3%	40%
マンホール等管路施設の内部の点検及び調査（年間）	269箇所	300箇所
授業では、自分の考えを 発表する機会が与えられていた子どもの割合	82.9% (小学4年生) 90.6% (中学2年生)	83.0%以上 (小学4年生) 90.7%以上 (中学2年生)
英語が好きな子どもの割合	63.3% (中学2年生)	80% (中学2年生)
今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある子供の割合	72.4% (小学4年生)	80% (小学4年生)
人が困っているときは 進んで助けようとする 子どもの割合	90.1% (小学4年生) 79.4% (中学2年生)	90.2%以上 (小学4年生) 79.5%以上 (中学2年生)
人の気持ちが分かる人間になりたいと思う子どもの割合	94.9% (小学4年生) 96.0% (中学2年生)	95.0%以上 (小学4年生) 96.1%以上 (中学2年生)
読書が好きな子どもの	69.8%	80%

	割合	(小学4年生) 66.3% (中学2年生)	(小学4年生) (中学2年生)	
	不登校の児童生徒の割合	1.38% (小学校) 4.33% (中学校)	1.37%以下 (小学校) 4.32%以下 (中学校)	
	新体力テストにおける全種別において、全国の平均を上回る(全8種別中、全国平均以上の種別数)	男子7種 女子4種 (小学6年生) 男子7種 女子5種 (中学3年生)	全種別 (小学6年生) (中学3年生)	
	全小中学校のバリアフリートイレ、スロープ等による段差解消等の改修	—	小学校 6校 中学校 3校	
	新聞やテレビのニュースに関心がある子どもの割合	63.3% (中学2年生)	80% (中学2年生)	
	文化資料館入館者数	8,214人	19,000人	
	貸館施設予約・決済システムサービスの実施	—	1施設以上	
	成人向けスポーツ教室の開催	33回	60回	
ウ	自治会加入率	65.0%	65.1%以上	施策の柱Ⅲ
	交流・連携を主とした情報交換を行う団体数	20団体	40団体	

	女性活躍センター団体 等登録数	52団体	65団体	
	市役所窓口でのクレジ ットカード・電子マネー によるキャッシュレス 決済の実施	—	100%	

※ 2023 年度以降に実施する事業の効果検証に活用

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

向日市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 歴史を活かした活力と魅力あるまちづくり事業

イ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり事業

ウ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり事業

② 事業の内容

ア 歴史を活かした活力と魅力あるまちづくり事業

史跡長岡宮跡や史跡乙訓古墳群等歴史の事実と魅力を国内外に発信するとともに、地域資源を活かした産業の活性化や将来を見据えた都市基盤整備事業を展開し、活力と魅力あるまちづくりを推進する。

【具体的な取組】

- ◆ 史跡長岡宮跡や史跡乙訓古墳群の整備
- ◆ 向日市観光交流センターにおける観光誘客のための事業の実施
- ◆ J R向日町駅周辺整備事業の推進
- ◆ 創業希望者へのきめ細かな支援 等

イ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり事業

子育て支援、教育環境整備、健康づくりや福祉・医療の充実に取り組むとともに、防災・防犯等への対応を進め、誰もが安心・安全・健康に暮らすことのできるまちづくりを推進する。

【具体的な取組】

- ◆幼児教育・保育のベストマッチを推進
- ◆放課後児童健全育成事業の推進
- ◆ゼロカーボンシティの実現
- ◆自主防災組織の育成支援及び消防団との連携強化
- ◆ふるさと向日市への愛着と誇りをはぐくむ「ふるさと学習」の充実
- ◆水道管路の耐震化 等

ウ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり事業

まちづくりを進める上で、市民の方々の信頼と協働は不可欠であり、市民参画の機会や場の創設等、市民の声が届くまちづくりを進める。また、多様性を認め合い、平和・人権・男女共同参画に積極的に取り組むとともに効率的で健全な行財政運営を推進する。

【具体的な取組】

- ◆市民のまちづくり活動への支援
- ◆ワーク・ライフ・バランスの普及・推進
- ◆健全財政の維持 等

※なお、詳細は第2次ふるさと向日市創生計画（令和5年度改訂版）のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

3,600,000千円（2022年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

外部有識者と市民公募委員で構成される有識者会議において、毎年度11月頃に効果検証を行う。検証結果については、本市ホームページにおいて

公表を行う。

⑥ **事業実施期間**

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで